



創立 70 周年記念事業②【卓球】 模範試合・講演会

本校創立 70 周年記念事業の第2弾である卓球の模範試合及び講演会が 11 月 16 日(金)、本校体育館において開催されました。これまで、数々の輝かしい実績を残し、「卓球大野」として活躍し続けてきた卓球部ですが、このたび日本のトップクラスの選手と監督の皆さんをお迎えし、70 年の節目に相応しい素晴らしい講演会となりました。

◆実業団・大学選手による模範試合◆



(実業団サンリツ)
天野 優選手



平 侑里香選手

卓球実業団の名門「サンリツ」から、ともに全国優勝経験のある天野優選手(和歌山県出身)と平侑里香選手(滋賀県出身)にきていただきました。本校卒業生である高橋梓海選手(H26 卒:日体大)と塚本佳苗選手(H28 卒:國學院大)とともに、模範練習と試合を披露してくれました。息をのむラリーの応酬など迫力のあるプレイを間近で観戦できました。

また、各選手の得意なサーブやスマッシュを本校生徒が実際に受けてみるという場面もあり、トップ選手の技術の高さに会場は大いに盛り上がりました。



天野選手と高橋選手の模範試合



(大野高卒業生)
高橋梓海選手



塚本佳苗選手



平選手のスマッシュにチャレンジ

◆元日本代表監督 近藤 欽司氏 講演会◆

模範試合に引き続き、元女子日本代表監督の近藤欽司先生にご講演いただきました。近藤先生は、インターハイ団体優勝 8 回を含め全国大会での優勝 37 回という実績の名指導者です。2008 年北京オリンピックでは、福原愛選手を擁しベスト4に導いておられます。

○高校生へのメッセージとして

「夢や目標を持つ大切さ」「高校時代のチャレンジは尊いもの」

「失敗は価値があるもの」「自分の個性、長所が何かを理解して、活かしていく取組をしていこう」「あいさつ、返事、ありがとう の3つはいつまでも大事に」

など大変ありがたいお話いただきました。



～心を成長させるために～

- 1 感謝の気持ちを育てよう
- 2 我慢の気持ちを強くしよう
- 3 友を思いやる気持ちを持たせよう



多くの皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

お陰様で、周年記念事業(式典・講演会)が無事終了いたしました。

～ 同窓会『東京支部総会』が開催されました ～

11 月 10 日(土)、東京上野の東天紅において、平成 30 年度大野高校同窓会東京支部総会が「ふるさと交流まつり」にあわせて開催されました。関東で活躍する同窓生の皆さんに対し、校長から学校や生徒の様子をお伝えしました。

日影勇会長、野田雄二副会長、林下稔東京支部長をはじめ多数の同窓生が集まり、それぞれ近況報告や高校時代のエピソード、大野の懐かしい思い出話などで盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。



●学校の様子（11月のおもな行事から）

1 学年保健講話「思春期のこころの健康講演会」（11/1）

11月1日（木）岩手医科大学特命助教の赤平美津子先生をお招きし、1学年を対象に健康講演会を開催しました。

思春期において、お互いの個性を認め、それぞれの考え方や行動を尊重しあうことの大切さを学びました。また、心身の不調に繋がるストレスの仕組みや、対処の方法について、わかりやすく解説していただきました。生徒が抱えている悩みや不安を和らげるきっかけになる講演会でした。



大野高・種市高合同 芸術鑑賞会（11/15）

東京芸術座公演 「夏の庭 ～The Friends～」

洋野町文化会館

ストーリー

人の死について興味を抱いた少年3人組は、かつての戦争体験で、心に傷を負った1人暮らしの老人と奇妙な友情関係を結ぶ。老人とのふれあいを通して、人の「生」と「死」をみつめる少年たちの成長ストーリー。

担当者談

目の前で演技している役者の方々はとても迫力がありました。大人が小学生の役を演じていました。言葉や身振り手振りによって本当に小学生がステージにいるように見え、人との関わりによって子供が大きく成長していく様子が伝わってきました。生徒は実際に生の演技を肌で感じ、引き込まれながら集中して鑑賞していました。（角掛裕喜）

生徒の感想

誰かのために行動することは、相手の為だけでなく、自分をも大きく成長させるきっかけになるのだと感じました。人が死ぬところを見たいという単純な欲望から、最後は「死んで欲しくない」という当初の思いと正反対になったことで「死ぬ」ということを理解し、死んだからといって、その人の存在が否定されるものではないのだと思いました。（1A女子）

「死」と向き合うことは、自分のことだけではないと思う。例えば、父母や祖父母、飼っているペットなど、あると思う。おじいちゃんとの別れでも、最後笑って心強いと言った仲良し3人組のように、大事な人達との別れが突然だったとしても、心強いと笑えるようにこれからも関わっていききたい。（1B女子）

小学生の幼心ながらの「死」に対しての考え方や捉え方に少し共感した。木山の「生きていうってのはただ息をしているというだけではない」というセリフがとても重く意味がある言葉と感じ、私もこれからの生きていく時間を大切にしていきたい。（2A女子）

誰の命でも軽いもの、どうでもいいものではなく、重く大切にしなければならぬ。日頃から相手に伝えたいことは言わなければ、いつ別れが来るかわからないと感じることができた。（2B女子）



●部活動報告

【サッカー部】

◆新人大会県大会（11/15 紫波町：県フットボールセンター）
1回戦 大野・久慈・岩泉（合同）0 - 2 花巻南

【卓球部】

◆東京卓球選手権予選（11/24・25 花巻市民体育館）
・男子ジュニア（シングルス）
岩崎（2B）、間澤（1A） 3回戦敗退
七ツ役（1B） 1回戦敗退
・女子一般（シングルス）
岡堀（3B） 1回戦敗退

バレー
バスケット男子
県大会でも
がんばれ！

【バレーボール部】

◆新人大会久慈地区予選（11/26 久慈市民体育館）
1回戦 大野 2 - 0 久慈
決勝 大野 0 - 2 久慈東 ☆2位通過
※県大会は、来年 1/25～花巻市・北上市で開催



【バスケットボール部】

◆新人大会久慈地区予選（11/24・25 大野体育館）
○男子リーグ戦
大野 96 - 68 久慈
大野 92 - 67 久慈東
大野 79 - 63 久慈工 ☆3勝で1位通過
※県大会は、来年 1/18～一関市で開催
○女子リーグ戦
大野・種市 17 - 126 久慈
大野・種市 16 - 197 久慈東 ☆予選敗退

●2年生 修学旅行に行ってきます！ 旅行の様子は、次号で報告します

2年生 28名と引率教員3名は、11/27（火）～12/1（土）の4泊5日の日程で関西方面に修学旅行を実施します。

11/22（木）に結団式を行い、旅行の意義・目的や注意事項を確認し、安全かつ有意義な研修となることを誓いました。旅行の計画概要は、右のとおりです。

27日朝、全員元気に出発しました



11/27（火）	学校発	伏見稲荷・清水寺見学	（京都市内泊）
11/28（水）	姫路城・震災メモリアルパーク等見学	（ // ）	
11/29（木）	京都市内班別自主研修	（ // ）	
11/30（金）	ユニバーサルスタジオジャパン	（堺市内泊）	
12/1（土）	道頓堀散策	学校着	